

尿中レジオネラ抗原		3905200		
		担当部署		
尿シガラ		微生物		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		患者自身が採取する場合は良質の検体が採取できるように適切な採取・保存方法を十分に説明し協力を求める		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*7.特殊細菌→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		<p>1) 検体の粘性が高い場合、検体の展開や反応に影響し、ラインの発色が弱い、出現が遅い又は出現しない、もしくは滞留による非特異反応等が生じることがある。</p> <p>2) 陰性と判定されても、必ずしもレジオネラニューモフィラ血清型 1 の感染を否定できるわけではない。</p> <p>3) 検体の色調が濃い場合、メンブレンが着色し判定に影響することがある。</p> <p>4) 一般的にレジオネラニューモフィラ血清型 1LPS 抗原は、肺炎症状出現の3 日後から尿中に検出され、尿中への排出期間も数日から数週間と症例によって差があるため、測定結果の解釈にあたっては、既往歴や臨床症状を十分に考慮すること。また、治癒後も尿中に排出される場合もあるため、治療効果の判定には使用しないこと。</p> <p>5) 本品はウサギ抗体を原料に使用しているため、ウサギ抗血清による治療を受けている症例、あるいは異好抗体が尿中に排泄されている症例等において偽陽性となる可能性があるため注意すること。</p>		
検査受付時間		緊急対応（24 時間）		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		該当なし		
検体採取の特別なタイミング		特になし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 新鮮尿	3 5滅菌管	なし		
2				
3				
4				

5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温 採取後直ちに提出			
検体受入不可基準		1) 検査ラベルがない検体 2) 尿以外の検体（血清、喀痰、咽頭ぬぐい液等）は使用できない。 3) 膿や血液等で著しく混濁している尿は使用しないこと。			
保管検体の保存期間		2週間（再検査・追加検査は要連絡）			
<b>検査結果・報告</b>					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中			
生物学的基準範囲		陰性（-）			
臨床判断値		該当なし			
基準値				単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		<p>レジオネラ肺炎はブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌であるレジオネラによる肺炎であるので細菌性肺炎に属するが、グラム染色で検出されず、βラクタム系抗菌薬が無効であることなどから、臨床的には非定型肺炎の中に含まれる。</p> <p>ほとんどが Legionella pneumophila 血清型 1 によるものであり、成人市中肺炎の約 3%の原因となっていると考えられている。</p> <p>成人の市中肺炎では肺炎球菌性肺炎とレジオネラ肺炎が急速に進展し、重症化する可能性がある。</p> <p>「日本呼吸器学会 成人市中肺炎診療ガイドライン 2009 年」</p>			